

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321055	子ども家庭支援論 Children and Family Support	田村佳世			2	必修	2前期
<b>科目の概要</b>							
DP③に記載している保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材に不可欠な専門的知識・技能を身に付けている保育者の育成を目指します。 保育における具体的な指導では、10年間の保育所保育士として勤めた経験を活かし、場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。 特にこの科目では、子育て家庭に対する支援の意義と役割や目的と機能を理解し、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について学びます。そして、子育て家庭に対する支援の体制(社会資源)について学び、子育ての支援者に必要な知識を学びます。それらを踏まえた上で、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題についての認識を深めます。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 子育て家庭に対する支援の意義・目的を学ぶ。 ② 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について学ぶ。 ③ 子育て家庭に対する支援の体制の様々な情報を調べ、その内容について学ぶ。 ④ 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について学習する。 ⑤ 事例研究をする中で子育て世代の問題点を知る。				① 子育て家庭に対する支援の意義・目的を説明できる ② 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について説明できる。 ③ 子育て家庭に対する情報を活用し、支援の体制について説明でき、活用することができる。 ④ 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について説明できる。 ⑤ 様々な事例から問題点を読み取ることができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について自発的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	履修済みの科目、実習、文献、インターネットなどを活用して、広く具体的な情報を得るために、粘り強く、強い意志をもって取り組み続けることができる。					
考え抜く力	課題発見力	授業内容や発表における疑問点や自分に不足している知識または技能を認識して、情報収集や分析を行ったり、課題を明らかにするために他者の意見を積極的に求めたりすることができる。					
	計画力						
	創造力	授業において修得した知識および技能をもとに、実習や保育者としての自分の姿を想定して、新たな保育観や保育方法を考えたり、探求することができる。					
チームで働く力	発信力	授業の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことをノートや指導案に記述(図表含む)することができ、相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に理解して話す、発表することができる。					
	傾聴力	グループワーク等を通して学生間で意見交換をし、相手の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。また相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコメントができたり、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	授業ルール(学修態度、課題の期日を守った提出等)の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
(テキスト) 新基本保育シリーズ⑤『子ども家庭支援論』中央法規 保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連: 「子ども家庭支援論」は「保育の本質・目的に関する科目」で、「保育原理」「保育者論」から「社会的養護Ⅰ」に関連する科目である。 資格との関連: 保育士資格							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。				・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	到達目標の①②③④⑤に対して、具体的な内容の理解ができている。保育者として、子育て家庭に対する支援のあり方を理解ができている。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		20	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力） 困難があっても、粘り強く、強い意志をもって最後までやり切ることができる。 （課題発見力） 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を明確にすることができる。 （創造力） 課題に対して固定概念にとらわれることなく、既習内容などから総合的に考えることができる。 （発信力） 具体例を用いて相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に整理して話す、発表することができる。 （傾聴力） 相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコミュニケーションができ、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。 （規律性） 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、筆記試験において、子ども家庭支援の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、グループワークでは、チームで働く力が大いに発揮できている。また、授業内での発言等において、発信力を意識した発言を心がけている。	達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、筆記試験において、子ども家庭支援の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、グループワークでは、チームで働く力が発揮できている。また、授業内での発言も積極的である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	第1回「子ども家庭支援の意義と必要性」 ・子ども家庭支援の意義について学ぶ。 ・少子化社会対策と子育て支援について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第1講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	第2回「子ども家庭視点の目的と機能」 ・児童福祉法改正と子ども家庭支援の制度について学ぶ。 ・保育所における子ども家庭支援の目的について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第2講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	第3回「子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進」 ・子育て支援・次世代育成支援の背景について学ぶ。 ・子ども家庭庁の施策について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第3講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	第4回「子育て家庭の福祉を図るための社会資源」 ・子育て家庭を支える社会資源と担い手について学ぶ。 ・社会資源との連携と現状、課題について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第4講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	第5回「保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義」 ・保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義について学ぶ。 ・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領が謳う「子育て支援」について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第5講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	第6回「子どもの育ちの喜びの共有」 ・子どもの育ちの喜びを共有する意味について学ぶ。 ・子どもの育ちの喜びを共有する事例について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第6講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	第7回「保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援」 ・地域の子育て家庭を取り巻く環境について学ぶ。 ・保育所を利用している保護者および地域で子育てをしている保護者に対する支援と関係機関について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第7講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	第8回「保育士に求められる基本的態度」 ・保育士と保護者との信頼関係について学ぶ。 ・秘密保持、自己決定の尊重について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第81講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第9回「家庭の状況に応じた支援」 ・家庭の状況に応じた支援とは ・家庭の状況に応じた支援に求められる保育者に求められる姿勢について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第9講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	第10回「地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力」 ・子ども家庭支援と地域の資源の活用について学ぶ。 ・災害時対応と地域の関係機関等との連携について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第10講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	第11回「子ども家庭支援の内容と対象」 ・さまざまな子ども家庭支援の対象・アプローチ・内容について学ぶ。 ・ソーシャルワークを活用した子ども家庭支援について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第11講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	第12回「保育所等を利用する子どもの家庭への支援」 ・保育所等が行う子ども家庭支援への期待と役割について学ぶ。 ・子ども家庭支援の留意点と他機関・多職種との連携について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第12講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	第13回「地域の子育て家庭への支援」 ・地域の子育て家庭への支援について学ぶ。 ・地域の子育て家庭への支援者の姿勢について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第13講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	第14回「要保護児童およびその家庭に対する支援」 ・要保護児童の全体像、家族的背景について学ぶ。 ・要保護児童とその家庭に対する支援の在り方について学ぶ。	講義 グループワーク classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 グループワークに参加し、自分の意見を言える。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第14講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	第15回「子育て支援に関する課題と展望」 ・子育て支援の多様化について学ぶ。 ・海外の親支援プログラムについて学ぶ。	オンデマンド classroomで授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業内容を理解し、ノートをまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：テキスト第15講を読んでくる。 復習：授業ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力